

里山・森林へのタケの侵入・拡大対策における竹材利用

研究の背景と目的

- 近年、高齢化や過疎化、需要の減少などによって竹林の管理が放棄されている。その後、竹林が拡大して周辺の里山や森林に侵入し、そこにあった木々を成長と繁殖の早さから、駆逐し始めるという問題が起こっている。
- 現在、拡大・侵入している竹林の竹材の有効な利用方法を考えることにより、竹林の管理・利用を促し、健全な竹林へと戻すことを目的とする。

研究概要

- 竹の利用方法に関する文献の調査
過去から現在までの竹の利用方法に関する文献の収集・調査
- 竹製品の実製作。
竹の特性を知るため、集めた文献の中から実際に製作できそうなものを実際に製作する。